広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	広島県北部における地域ごとの骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（MRONJ）発症状況と口腔健康状態および歯科医療背景の関連性に関する研究
研究責任者 （所属科名）	福谷　多恵子　（歯科・口腔外科）
本研究の目的・意義	広島県では、歯科医療を提供するための人材と環境が県南部に多く分布しており、県北部では歯科診療所や歯科医療機関の数が相対的に少ないとされています。 実際、広島県の無歯科医地区数は全国で2番目に多く（2022年）、その多くが県北部に位置しています。また、病院歯科には一般歯科のみを行う施設と、一般歯科に加えて口腔外科診療を行う施設がありますが、後者に該当する病院歯科は県内に14施設しかなく、その大半が県南部に集中しています。このように、県北部と南部では歯科医療体制に一定の地域差が存在すると言えます。 一方で、県全体では高齢化の進行、がん治療患者の増加、生活習慣病の重症化に伴い、口腔機能管理の重要性が高まっています。しかし、県北部における口腔の健康状態や歯科医療の利用状況に関する詳細な報告はあまりなく、地域の実態を把握するための基礎的な情報が不足しているのが実情です。 さらに、骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（medication-related osteonecrosis of the jaw：MRONJ）は増加傾向にあります。ＭＲＯＮＪは疼痛・腫脹・排膿などを認め、重症化するとQOLの著しい低下を招きます。摂食量の低下による栄養不良や免疫低下を介してがんの治療や骨粗鬆症の治療など、原疾患治療の中断に至ることもあり、予防と早期発見の重要性は高いです。しかし、臨床現場では地域によって発症状況が異なる印象があるものの、これを裏付けるデータは十分ではありません。 以上の背景を踏まえ、本研究では当科および三次市立中央病院歯科口腔外科と連携し、広島県北部における地域ごとのMRONJの発症状況を調査しようと考えました。さらに、広島県の地域ごとの口腔健康状態や歯科医療の状況を調査し、県北部の歯科医療の現状を明らかにし、今後の地域医療体制の検討に役立つ基礎的な情報を示す

	ことを目的としています。
調査方法・研究期間	調査方法：後ろ向き観察研究 データ収集期間：2018年1月1日～2025年12月31日(場合により延長あり)。 研究期間:2028年12月までを予定しています(場合により延長あり。
該当資料・データ	対象となる患者様 ① 2018年1月～2025年12月に、当院歯科・口腔外科に受診され、MRONJと診断された患者様。 ② 2025年11月～2026年4月に、当院歯科・口腔外科で周術期口腔機能管理として術前の口腔ケアを行った65歳以上の患者様。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 （患者様の年齢、性別、病名、住まいの地域名、初診時のOral Health Assessment Tool（OHAT）の結果、義歯使用状況、処置内容など）
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	担当者：歯科・口腔外科　副部長　福谷多恵子 電話番号：082-815-5211
備考	なし